

実施報告

埼玉県西部地域まちづくり協議会男女共同参画部会(ダイア4市)／
日高市／東京家政大学地域連携推進センター 共催講演会
イラン映画を観て考えよう「オフサイド・ガールズ」
～どうして女はスタジアムに入れないの！？～

| | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 開催日：平成 29 年 12 月 16 日（土） | 当日のスケジュール |
| 会 場：入間市産業文化センターホール | 13：00～開場 |
| 時 間：13：30～16：00 | 13：30～入間市長挨拶 |
| 講 師：並木有希(人文学部 英語コミュニケーション学科准教授) | 13：33～地域連携推進センター所長挨拶 (東京家政大学学長) |
| 来場者：180 人 | 13：38～映画上映 |
| | 15：13～講師紹介 |
| | 15：15～講演開始 |
| | 15：45 講演会終了 |

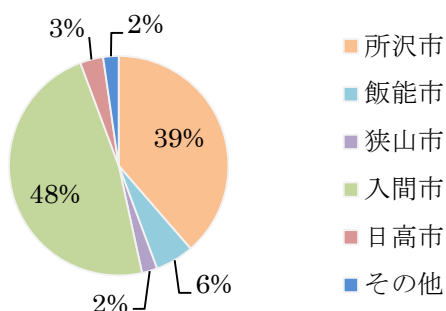
12月16日（土）埼玉県西部まちづくり協議会男女共同参画部会(所沢市・飯能市・狭山市・入間市)・日高市・東京家政大学地域連携推進センター共催講演会「イラン映画を観て考えよう『オフサイド・ガールズ』～どうして女はスタジアムに入れないの！？～」が開催されました。映画上映の後、人文学部英語コミュニケーション学科准教授で女性未来研究所副所長の並木有希先生より、映画の講評・質疑応答が行われました。

映画では、女性のスポーツ観戦が法律で禁止されているイランで、男装をし、何とかしてスタジアムに入ろうとする少女達の姿を映し、イランの女性問題をユーモラスに描かれていました。

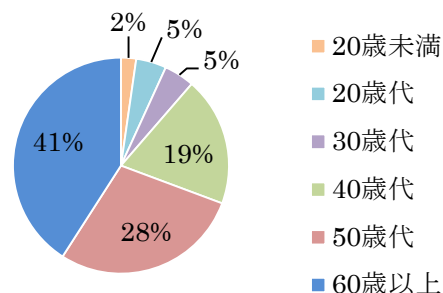
上映後の並木先生の講評によって、イランの女性問題は女性差別とはまた違う、女性を守るためのものであり、イランでは女性の社会進出は日本以上の面もあるという現状についてユーモアを交え分り易くお話いただきました。映画では分かり得なかったことが、並木先生のお話を聞いて何となく理解することができたという人も少なくなかったのではないのでしょうか。

講演会は180人近くの参加者で、最後の質疑応答では何人もの参加者から質疑の手が上がり、満足感に包まれながら終了しました。たくさんのご来場、心より感謝いたします。(以下、アンケート集計からの抜粋、原文一部修正)

◆住まい

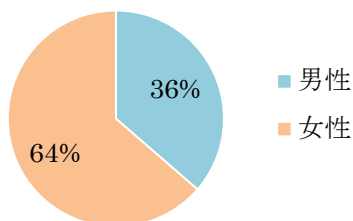


◆年齢

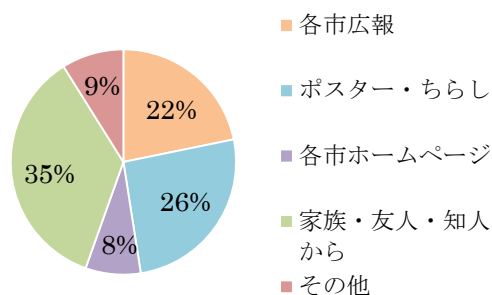


実施報告

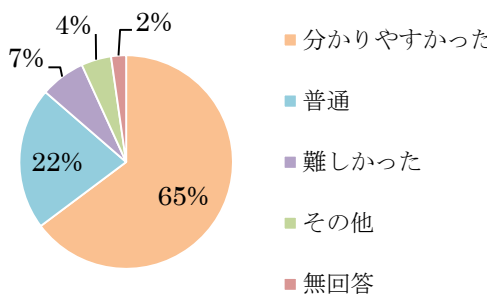
◆性別



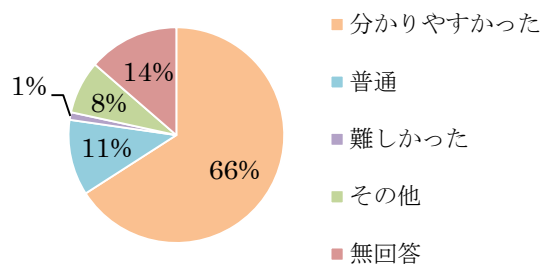
◆上映会を何で知りましたか



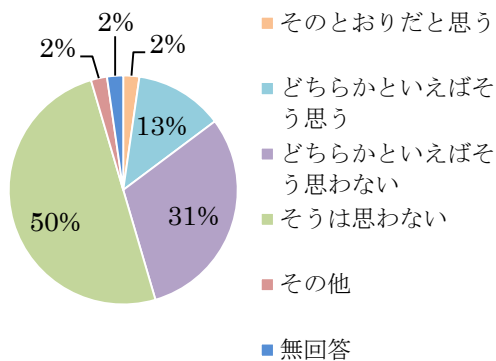
◆上映会の内容はいかがでしたか



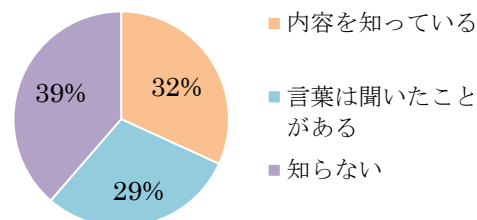
◆講演会の内容はいかがでしたか



◆「男は仕事、女は家庭」という考え方をどのように思いますか



◆埼玉県西部地域まちづくり協議会（通称：ダイアプラン）を知っていますか



実施報告

◆講師によるコメントの内容はいかがでしたか

- ・講師の方がテーマや映画を選んでないので話しづらそうでした。
- ・Wikipedia に書いてあるようなことばかり話していて、講師として勉強不足では。
- ・早口だったけど何となく理解できた。
- ・専門外で大変だったと思うが、もう少し内情に詳しい方がよかったです。
- ・映画・監督の評論ではなく、「人権」について聞きたかった。
- ・おもしろい。
- ・映画よりも講師の話の方が10倍面白かった！（映画は長すぎた）
- ・イランの事情に詳しい人をつれてきた方がよかったと思う。

◆上映会の感想について(映画、講師、会場、日程など)また今後開催して欲しい上映会や講演会のテーマ(内容)等について自由にご記入ください

- ・「女性」の問題について、「人ではなく『国の制度の問題』』とのお話がありましたが、本当にそうでしょうか？少なくとも私は日本においては、むしろ人の問題の方が大きいように思います。私の父は大学の名誉教授にまでなった人ですが、私はずっと人権侵害を受けています。その事をいろんな人や警察に言っても「あなたの方が嘘をついているかもしれないし」と平気な顔をして言われます。一体どこへ訴えに行ったらいいのですか？教えて下さい。このまま濡れ衣を着せられたまま死んでゆくのは嫌です。理不尽な世の中を変えていきたいです。
- ・映画の内容について、最後があっけなかった。ハラハラするところもあったけど、和訳のせいか、面白みが中途半端だった。イスラムの事はよく知らなかったが、不思議な国。誤解があったかもしれないと思った。
- ・『男女七歳にして席を同じゅうせず』を思い、古いのだなと思っていましたが、女性は守られている、教育その他、水準が高いのだなど、思い違いが恥ずかしかった。社会進出が大事なことが分かりました。私が随分遅れていたことに気が付きました。
- ・以前、修道院の映画を観たことがあります。自分の人生とは違う生き方を知るという点において、趣があると思います。
- ・「人生タクシー」を観てみたいです。
- ・映画は良かった。自分で思っていた「社会的に閉じ込められた女性」というイメージが講演の中で少し変化してしまい、色々調べたくなった。
- ・なかなか観ることのできない映画を観ることができて良かった。映画の後の並木先生のお話を伺い、イランについて知る機会となりました。
- ・講師の方のお話を聞いて、イランの文化を知った後では、また映画の観方が変わってくるのかなと思いました。
- ・並木先生の話は面白かった。(今後開催して欲しいテーマ)⇒「フェイクニュースと真実について」をテーマに。

実施報告

- ・ 久々の映画とても良かった。また観に来ます。
- ・ (今後開催して欲しいテーマ)⇒モラハラ、DVからの脱出。トラウマとの闘い。人権尊重。
- ・ イラン女性のたくましさを感じた。
- ・ 並木先生の講演とてもよく分かりやすく良かったです。また機会があれば、お会いしたいです。
- ・ 初めてのイラン映画で、とても有意義な時間が過ごせました。
- ・ 女性が試合を観られないというネタを使った、イランの社会情勢を皮肉った映画にかみえなかった。差別とはまた違う作品だと思う。人間は平等に同じ気持ちという事ですかね。そもそも、こうして作品が実際に撮れるところがスゴかった。
- ・ 自分にとって遠い国で、カルチャーショックを受けました。他の国の映画も観てみたいです。(特にアジア映画)
- ・ 並木先生のお話はとても良かったです。難しい内容を分かりやすく、楽しくお話して下さったので、興味深く聴いていました。
- ・ 映画とても良かったと思います。講師の説明も分かりやすく理解出来ました。改めて日本の事も考えてみるキッカケになりました。
- ・ 人権について不平等があってはならない。信仰や国家が決めることとは違う。会場の要約筆記助かりました。字幕映画は楽しめました。
- ・ 分かりやすい会場、駅から近いところ希望。
- ・ こういう機会をもっとやって欲しい。
- ・ 文化の違いを感じる興味深い内容でした。
- ・ 私は1回イランに行ったことがあるが、「おしん」はすごい人気があると聞いてびっくりした。最近は何でもあり、ないものは無いらしい。飛行機の中で、スカーフで頭を覆ったのを覚えている。
- ・ 並木先生のお話が加わったことで、映画の背景が分かり易くなり、良かったです。
- ・ イランの女性は意外に自立していて強いのだと思いました。楽しかったです。
- ・ イランという国のことは全く知らなかったもので、とても興味深く拝見しました。
- ・ 国民性、サッカーであれだけ騒げる。
- ・ 映画はとても面白く、時間が短く感じた。イランの男女隔離政策はなんとなく知っていたが、具体的に競技観戦という切り口で様々な面をみせてもらった。講演とても分かり易く、良かった。イランのジェンダーの状況の話が興味深かった。
- ・ 講演を聞いて、イランに対する意識が変わった。原題は「オフサイド」だけだったのに、“ガールズ”と“～どうして女はスタジアムに入れないの～”が付くと、かえって誤解を生む。これは日本版では常についているものなのだろうか。ある意味、日本よりも男女の差別がない国だと思った。
- ・ 映画という手段は気軽に良い。講師も良かった。
- ・ 規則の矛盾や乱暴な文化性の中でも、なぜか人間味を感じる人々の姿、少女達のたくましいエネルギーを感じる秀作映画でした!!講師の解説のお話も豊かで分かり易く、

実施報告

共感と興味を持ってました。

- ・上映会の感想について、前向きな女性の生き方に驚嘆。
- ・イランという国の摩訶不思議を感じました。興味を持ちました。
- ・イスラムのジェンダー観に興味を持った。不便であるが“女性を守る為”女性はそのエリアがあることも良いこともあるのかもしれない。(日本も電車の女性車両等) LGBTにおいても日本より進んでいるところにも新しい発見。日本は日本の価値観に縛られているのかもしれないと感じた。
- ・並木先生の話は良かったです。意外とジェンダー教育の話まで。
- ・モラハラでテーマで参加したいです。時間は1時30分スタートでちょうど良いです。
- ・イスラム文化のことをもっと知りたくなった。日本の女性より強くみえた。
- ・良い企画でした。今後も日本でまだ良く知られていない国、地域の社会問題、女性の地位など描く映画・講演会を続けてほしい。
- ・アンケートの問3ですが、男女2つの選択肢しかないのは、なぜなのか気になりました。あえて男女のみにしたのなら、その理由を示してほしい。あてはまらない人もいるのだから「その他」も設けるべきでは？
- ・上映ありがとうございました。とても実りのある内容でした。LGBTについて講演会があると嬉しいです。
- ・講師によるコメントは、イランの女性の置かれている立場に対して、もっと具体的なことを話して欲しかった。

◆男女平等に関する意識についておうかがいします。「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方をどのように思いますか

- ・実際に夫を25年間養っているもので、どちらが働いても良いと思うし。しかし、女性の方が賃金面や働く場所が限られていると感じる。
- ・(男性は仕事、女性は家庭)ということについて、どちらかといえばそう思うが、世の中だいぶ変化してきていて、女性の社会進出も必要であると思う。女性の能力が男性に比べて劣っているとは思わない。
- ・(男性は仕事、女性は家庭)ということについて、絶対とは思わないが、(どちらかといえばそう思う)の方がバランスは良いかもという理由。人によってはそれぞれなので基本的には自由だと思っています。
- ・家政大出身として、この様な題に参画することに大いに期待していますが、女性であることを逃げ道にしないことを願う。
- ・個人の自由。
- ・そのカップルにとってベストな分担なら、どちらでも良いと思う。

実施報告



入間市 田中龍夫市長挨拶



東京家政大 山本和人所長挨拶



並木先生による映画の講評開始



並木有希先生 (1)



並木有希先生 (2)



会場の様子 (1)

実施報告



会場の様子 (2)



会場の様子 (質疑応答)



受付の様子 (1)



受付の様子 (2)



会場前看板



入間市田中市長と並木先生